

調査結果の概要

1 小学校

(1) 学校数

学校数は、162校(本校149校、分校13校)で、前年度より2校(分校2校)減少した。

(2) 学級数

学級数は、1,637学級で、前年度より3学級減少した。

(3) 児童数

児童数は、33,339人(男子17,085人、女16,254人)で前年度より252人(0.8%)減少した。

(4) 教員数(本務者)

教員数は2,596人(男1,052人、女1,544人)で、前年度より20人減少した。教員数の中には、特別支援学級担当教員244人のほか、産休代替教員20人、育児休業代替教員20人、指導主事12人、教育委員会事務局等勤務者他15人、留学者・海外日本人学校派遣者33人、退職者80人が含まれる。

本務教員中女性教員の占める割合は、59.5%で前年度より0.4ポイント低下した。

表1 学校数・学級数・児童数・教員数

(単位:校、学級、人、%)

区分	学校数		学級数			児童数		教員数(本務)		女性教員 構成比 ()内全国
	総数	うち本校	総数	うち複式	うち特別 支援学級	総数	うち女子	総数	うち女性	
平成15年度	180	161	1,699	44	203	35,998	17,801	2,731	1,647	60.3 (62.7)
平成16年度	180	161	1,701	40	209	35,357	17,495	2,735	1,661	60.7 (62.7)
平成17年度	175	158	1,694	44	215	34,726	17,180	2,693	1,626	60.4 (62.7)
平成18年度	169	153	1,675	43	226	34,287	16,807	2,674	1,609	60.2 (62.7)
平成19年度	164	149	1,640	44	228	33,591	16,326	2,616	1,568	59.9 (62.7)
平成20年度	162	149	1,637	44	243	33,339	16,254	2,596	1,544	59.5 (62.8)

(5) 理由別長期欠席者数(平成19年度間)

平成19年度中に通算して30日以上欠席した児童は、377人で前年度より22人(6.2%)増加した。

主な欠席理由のうち「不登校」は、146人で前年度より18人(14.1%)増加した。

表2 理由別長期欠席者数(平成19年度間)

(単位:人)

区分	理由				
	総数	病気	経済的理由	不登校	その他
平成14年度間	431	209	-	170	52
平成15年度間	375	173	-	127	75
平成16年度間	308	128	-	122	58
平成17年度間	334	124	-	124	86
平成18年度間	355	146	-	128	81
平成19年度間	377	150	-	146	81

2 中 学 校

(1) 学 校 数

学校数は、64校(本校63校、分校1校)で、前年度と同じである。

(2) 学 級 数

学級数は、688学級で、前年度より7学級減少した。

(3) 生 徒 数

生徒数は、17,582人(男子8,781人、女8,801人)で前年度より541人(3.0%)減少した。

(4) 教 員 数 (本務者)

教員数は1,473人(男871人、女602人)で、前年度より29人減少した。教員数の中には、特別支援学級担当教員102人のほか、産休代替教員10人、育児休業代替教員12人、指導主事12人、教育委員会事務局等勤務者他6人、留学者・海外日本人学校派遣者22人、退職者40人が含まれる。

本務教員中女性教員の占める割合は、40.9%で前年度より0.9ポイント上昇した。

表3 学校数・学級数・生徒数・教員数

(単位:校、学級、人、%)

区 分	学 校 数		学 級 数			生 徒 数		教員数(本務)		女性教員 構 成 比 ()内全国
	総数	うち本校	総数	うち複式	うち特別 支援学級	総数	うち女子	総数	うち女性	
平成15年度	62	62	683	1	90	20,126	9,850	1,535	613	39.9 (40.9)
平成16年度	63	62	698	1	97	19,396	9,441	1,551	621	40.0 (41.0)
平成17年度	63	62	699	1	93	18,957	9,199	1,537	609	39.6 (41.0)
平成18年度	64	63	688	-	92	18,269	8,951	1,512	603	39.9 (41.2)
平成19年度	64	63	695	-	102	18,123	9,035	1,502	601	40.0 (41.4)
平成20年度	64	63	688	1	102	17,582	8,801	1,473	602	40.9 (41.5)

(5) 理由別長期欠席者数(平成19年度間)

平成19年度中に通算して30日以上欠席した生徒は、738人で前年度より5人(0.7%)増加した。
主な欠席理由のうち「不登校」は458人で前年度より1人(0.2%)減少した。

表4 理由別長期欠席者数(平成19年度間)

(単位:人)

区 分	理 由				
	総 数	病 気	経済的理由	不登校	その他
平成14年度間	841	173	2	575	91
平成15年度間	857	154	4	535	164
平成16年度間	847	128	4	542	173
平成17年度間	770	117	1	502	150
平成18年度間	733	132	1	459	141
平成19年度間	738	114	1	458	165

(6) 卒業後の状況

平成20年3月の卒業者は、6,096人(男3,135人、女2,961人)で、前年より127人減少した。

表5 進路別卒業生数

(単位:人、%)

	卒業生数		高等学校等進学者	専修学校(高等課程)進学者	専修学校(一般課程)等進学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外のもの	高等学校等進学率 ()内全国	就職率 ()内全国
	総数	うち女								
平成15年度	7,069	3,491	6,827	15	25	1	75	126	96.6 (97.3)	1.1 (0.8)
平成16年度	6,969	3,423	6,756	18	18	4	63	110	96.9 (97.5)	1.0 (0.7)
平成17年度	6,561	3,219	6,357	12	10	8	79	95	96.9 (97.6)	1.3 (0.7)
平成18年度	6,557	3,191	6,390	19	6	3	48	88	97.5 (97.7)	0.8 (0.7)
平成19年度	6,223	3,005	6,075	9	6	1	39	93	97.6 (97.7)	0.7 (0.7)
平成20年度	6,096	2,961	5,991	14	2	-	28	61	98.3 (97.8)	0.5 (0.7)

(注) 平成18年度の卒業生数の総数には、「死亡・不詳の者」3人を含む。

ア 進学状況

高等学校等への進学者は、5,991人(男3,066人、女2,925人)で、その内訳は、高等学校本科全日制5,543人、高等学校本科定時制122人、高等専門学校195人、高等学校通信制78人、特別支援学校高等部53人となっている。

高等学校等進学率(卒業生のうち高等学校等進学者の占める比率)は、98.3%で前年より0.7ポイント増加した。

高等学校・高等専門学校等への入学志願者は、5,963人(男3,070人、女2,893人)で、その内訳は、高等学校本科全日制5,582人、高等学校本科定時制131人、中等教育学校後期課程本科1人、高等専門学校196人、特別支援学校高等部53人となっている。

イ 就職状況

就職者28人に、高等学校等進学者のうち就職している者1人を加えた就職者総数は、29人で、前年より12人減少した。

就職率(卒業生のうち就職者総数の占める比率)は、0.5%で、前年より0.2ポイント減少した。

産業別の就職先は、最も多いのが第3次産業で16人と55.2%を占め、次いで第2次産業が8人で27.6%、第1次産業が4人で13.8%となっている。

また、就職地域別では、県内26人、県外3人となっている。

県外就職率は10.3%で、前年を5.4ポイント上回った。

表6 産業別就職者数

(単位:人、%)

区分	就職者		第1次産業		第2次産業		第3次産業		その他		県外就職率 ()内全国
	総数	うち県外	総数	うち県外	総数	うち県外	総数	うち県外	総数	うち県外	
平成15年度	80	5	3	1	45	1	26	2	6	1	6.3 (9.7)
平成16年度	67	2	4	-	28	-	27	2	8	-	3.0 (8.9)
平成17年度	83	2	7	-	30	-	45	2	1	-	2.4 (9.9)
平成18年度	51	1	1	-	24	-	24	1	2	-	2.0 (9.1)
平成19年度	41	2	1	-	9	-	25	2	6	-	4.9 (10.4)
平成20年度	29	3	4	-	8	1	16	2	1	-	10.3 (10.1)

3 高等学校

(1) 学校数

学校数は、31校(本校)で、前年度と同じである。
課程別にみると、全日制27校、定時制2校、併置2校となっている。

(2) 学科数

大学科数は、52学科(全日制48学科、定時制2学科、併置2学科)で前年度より1学科(全日制)減少した。
その内訳は、普通科が17学科と最も多く、次いで、商業科が6学科、工業科・家庭科・総合学科が各5学科となっている。

(3) 生徒数

生徒数は、17,698人(男子8,971人、女8,727人)で前年度より314人(1.7%)減少した。
課程別にみると、全日制17,181人(本科16,948人、専攻科233人)、定時制(本科)517人で、前年度に比べ、全日制は278人(1.6%)減少、定時制は36人(6.5%)減少した。
本科の入学状況についてみると、本科の入学者5,802人のうち、他県所在の中学卒業者は159人で、入学者全体の2.7%(前年度2.2%)を占め、過年度中学校卒業者は39人で、入学者全体の0.7%(前年度0.8%)を占めている。

(4) 教員数(本務者)

教員数は1,530人(男1,087人、女443人)で、前年度より21人(男10人、女11人)減少した。
設置者別にみると、公立は1,235人(男882人、女353人)で、前年度より18人減少し、私立は295人(男205人、女90人)で前年度より3人減少した。

表7 学校数・生徒数・教員数

(単位:校、人、%)

区分	学校数			生徒数			教員数(本務者)			教員1人当たり生徒数 ()内全国
	総数	公立	私立	総数	男	女	総数	男	女	
平成15年度	35	29	6	20,543	10,160	10,383	1,665	1,192	473	12.3 (14.7)
平成16年度	36	30	6	20,011	9,951	10,060	1,655	1,186	469	12.1 (14.5)
平成17年度	31	25	6	19,169	9,580	9,589	1,596	1,151	445	12.0 (14.3)
平成18年度	31	24	7	18,665	9,415	9,250	1,589	1,137	452	11.7 (14.1)
平成19年度	31	24	7	18,012	9,128	8,884	1,551	1,097	454	11.6 (14.0)
平成20年度	31	24	7	17,698	8,971	8,727	1,530	1,087	443	11.6 (14.0)

(5) 卒業後の状況

平成20年3月の卒業者は、5,719人(男2,911人、女2,808人)で、前年より366人減少した。

表8 進路別卒業生数

(単位:人、%)

区分	卒業生数		大学等 進学者	専修学校 (専門課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業能 力開発施設 等入学者	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	左記 以外の もの	大学等 進学率 ()内全国	就職率 ()内全国
	総数	うち女									
平成15年度	6,844	3,448	2,614	1,346	737	143	1,604	...	400	38.2 (44.6)	23.8 (16.6)
平成16年度	6,578	3,335	2,481	1,308	688	93	1,603	84	321	37.7 (45.3)	24.6 (16.9)
平成17年度	6,532	3,294	2,609	1,464	535	88	1,531	72	233	39.9 (47.3)	23.7 (17.4)
平成18年度	6,240	3,156	2,675	1,326	397	71	1,497	85	177	42.9 (49.3)	24.2 (18.0)
平成19年度	6,085	3,016	2,669	1,142	492	46	1,496	79	151	43.9 (51.2)	24.9 (18.5)
平成20年度	5,719	2,808	2,493	1,125	456	49	1,398	54	143	43.6 (52.8)	24.7 (19.0)

(注) 1 「一時的な仕事に就いた者」は平成16年度から調査項目となった。

2 卒業生数の総数には、平成18年度12人、平成19年度10人、平成20年度1人の「死亡・不詳の者」を含む。

ア 進学状況

卒業者のうち、大学等進学者は、2,493人(男1,173人、女1,320人)で、その内訳は、大学(学部)が、1,843人で、大学等進学者の73.9%を占め、次いで、短期大学(本科)が446人で17.9%、高等学校専攻科が202人で8.1%等となっている。

大学等進学率(卒業者のうち、大学等進学者の占める比率)は43.6%(男40.3%、女47.0%)で、前年を0.3ポイント下回った。

大学(学部)・短大(本科)への平成20年3月卒業者の入学志願者は、2,842人(男1,404人、女1,438人)で、志願率(卒業者に対する入学志願者の比率)は49.7%で前年を0.6ポイント下回った。

大学(学部)・短大(本科)への入学者は、2,289人(男1,073人、女1,216人)で、入学率(入学志願者に対する入学者の比率)は、80.5%で、前年を0.2%ポイント上回った。

また、専修学校(専門課程)進学者は、1,125人(男502人、女623人)であった。

イ 専修学校(一般課程)等入学者

専修学校(一般課程)等の入学者は、456人(男267人、女189人)であった。この内訳は、専修学校(一般課程)191人、各種学校265人となっている。

表9 大学・短大への志願率・入学率

(単位:%)

区分	入学志願率						入学率					
	全国平均			鳥取県平均			全国平均			鳥取県平均		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成15年度	55.7	57.2	54.2	47.1	47.4	46.7	79.5	74.3	85.1	73.2	66.0	80.4
平成16年度	55.6	57.2	54.1	48.7	48.5	48.8	80.8	75.9	86.2	71.4	66.5	76.2
平成17年度	55.9	57.2	54.6	47.8	47.9	47.7	83.7	79.8	87.9	76.5	71.2	81.7
平成18年度	57.4	58.7	56.0	48.6	46.6	50.5	85.3	81.6	89.2	82.2	78.6	85.6
平成19年度	58.7	60.1	57.3	50.3	48.5	52.0	86.4	82.8	90.4	80.3	75.0	85.4
平成20年度	60.1	61.3	58.9	49.7	48.2	51.2	87.2	83.5	91.1	80.5	76.4	84.6

ウ 就職状況

就職者1,398人に、大学等進学者、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者、公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者15人を加えた就職者総数は、1,413人(男835人、女578人)で前年より100人減少した。

就職率(卒業者のうち就職者総数の占める比率)24.7%で前年を0.2ポイント下回った。

職業別にみると、生産工程・労務作業者が最も多く、592人で41.9%を占め、次いでサービス職業従事者が228人で16.1%、販売従事者が184人で13.0%となっている。

産業別にみると、最も多いのが製造業で、579人と41.0%を占め、次いで卸売業、小売業が220人で15.6%、宿泊業、飲料サービス業が104人で7.4%を占めている。

就職地域別にみると、県内1,059人、県外354人で、県外の占める割合は、25.1%で前年を3.8ポイント上回った。

表10 県外就職者数

(単位:人、%)

区分	就職者数	うち県外就職者数													
		総数	構成比	()内全国	大阪	島根	東京	岡山	兵庫	広島	神奈川	愛知	京都	山口	その他
平成15年度	1,632	248	15.2	(17.7)	87	23	26	18	25	15	4	11	10	7	22
平成16年度	1,617	193	11.9	(17.5)	62	18	11	18	19	17	4	7	14	6	17
平成17年度	1,546	249	16.1	(18.4)	56	38	29	22	22	15	13	13	11	9	21
平成18年度	1,507	314	20.8	(19.3)	76	44	25	38	30	16	7	12	20	15	31
平成19年度	1,513	323	21.3	(20.2)	96	26	26	31	35	27	2	14	13	14	39
平成20年度	1,413	354	25.1	(20.8)	109	38	20	36	22	40	5	18	13	15	38

4 特別支援学校

- (1) 学校数及び在学者数
学校数は、10校(国立1校、公立9校)で、前年度と同じであった。
在学者は、798人(男489人、女309人)で前年度より1人減少した。
- (2) 教員数(本務者)
教員数は、598人(男218人、女380人)で前年度より2人増加した。

5 幼稚園

- (1) 園数
幼稚園数は40園で、前年度より1園減少した。
設置者別にみると、国立1園、公立11園、私立28園となっている。
- (2) 学級数
学級数は、230学級で前年度より2学級増加した。1学級当たりの幼児数は、20.7人で前年度より0.4人減少した。
- (3) 在園者数
在園者は、4,759人(男2,447人、女2,312人)で、前年度より44人減少した。
就園率をみると、32.6%(前年度33.1%)で前年度より0.5ポイント低下した。
- (4) 教員数(本務者)
教員数は、427人で、前年度より9人増加した。
教員1人当たりの在園者数は、11.1人で、前年度より0.4人減少した。

6 専修学校

- (1) 学校数
学校数は、24校で前年度と同じであった。
これを設置者別にみると、公立4校、私立20校となっている。
- (2) 課程・学科数
学科数は、47学科で、これを課程別にみると、高等課程6学科、専門課程33学科、一般課程8学科となっている。
- (3) 生徒数
生徒数は、1,925人(男751人、女1,174人)で、これを課程別にみると、高等課程287人、専門課程1,273人、一般課程365人となっている。
- (4) 教員数(本務者)
教員数は、184人(男82人、女102人)で、前年度より9人減少した。
- (5) 卒業者数(平成19年度間)
卒業者数は、807人(男325人、女482人)で、課程別にみると、高等課程122人、専門課程512人、一般課程173人であった。

7 各種学校

(1) 学校数

学校数は、14校で前年度と同じであった。
これを設置者別にみると、公立1校、私立13校となっている。

(2) 課程数

課程数は16課程で、内訳は、自動車操縦11、予備校3、保育士養成、和洋裁各1となっている。

(3) 生徒数

生徒数は、1,357人(男832人、女525人)で前年度より507人減少した。

(4) 教員数(本務者)

教員数は、372人(男345人、女27人)で、前年度より12人減少した。
設置者別にみると、公立3人、私立369人であった。

(5) 卒業者数(平成19年度間)

卒業者は、19,029人(男12,149人、女6,880人)であった。

8 不就学学齢児童生徒

(1) 就学免除・猶予者

学齢児童(6歳～11歳)・学齢生徒(12歳～14歳)のうち、就学義務を免除された者はいなかった。また、猶予された者は、学齢児童3人(男1人、女2人)、学齢生徒4人(男1人、女3人)であった。

(2) 死亡者

平成19年度間に死亡した者は、3人(学齢児童1人、学齢生徒2人)であった。